

ノスクマード[®]知財ニュース

1

2023

◆ ルブタン「赤い靴底」による出所混同は認められず

CHRISTIAN LOUBOUTIN SAS（以下、ルブタン）らが、シューズブランドの「エイゾー」などを運営するエイゾーコレクションと、赤い靴底を巡って争っていた件で、知財高裁はルブタン側の請求を全て棄却した。ルブタン側は、エイゾーコレクションが「ルブタン」の定番といえる赤い靴底のポンプスに類似した商品を製造販売したと主張し、同社に対して損害賠償4200万円などを求めて提訴し、一番でルブタン側の主張が認められなかったため、これを不服として控訴していたが、今回、知財高裁でも訴えが認められず、請求が棄却された。

裁判所は、両者の価格帯は大きく異なること、小売店などでは「ブランド名が明確に表示されているといえる」こと、商品自体にブランドロゴが付されている点などから、エイゾーコレクションの商品は、「『ルブタン』ブランドの商品であると誤認混同する恐れがあると言えないことは明らか」と判断した。

◆ 偽物のシャネルのマスクを陳列した男を商標法違反で逮捕

静岡県の雑貨店で偽物のシャネルのマスク3枚を販売目的で所持していたとして、47歳の経営者の男が逮捕された。調べに対し、「シャネルのロゴのついた商品を陳列することで客の目を引けるため」などと容疑を認めているという。店からは他にも偽ブランドのネックレスなどが押収されていて、警察はこの男が偽ブランド品の販売を繰り返していたとみて調べている。

◆ 4本線のストライプなどに対するアディダスの訴えは認められず

アディダスが、トム・ブラウンに対して、トム・ブラウンの商品に付された、4本線のストライプ柄やトリコロールカラーのグログランリボンが、アディダスの商標権を侵害しているなどとして、約800万ドル（約10億円）の損害賠償を求めて争っていた件について、裁判員はトム・ブラウンの商標権侵害を否定した。

トム・ブラウンは、創業時からストライプをデザインに取り入れていたところ、2007年にアディダスから一部のデザインで採用した3本線のストライプ柄について警告を受けたため、衝突を避けるために4本線のデザインに変更したという。また、同社は、「そこから10年以上両社は共存しており、アディダスは損害を被った証拠を提示していない。」と主張した。

これに対してアディダスは、1950年代から3本線のストライプを使用しており、Tシャツやスニーカーなど、アディダスが得意とするスポーツ関連製品にトム・ブラウンがストライプを使用すると混乱を招く可能性があり、ストライプの本数の違いについては、遠くから見たときに本数を間違える消費者は多く存在すると主張し、また、アディダスが長年スポンサーを務めていたFCバルセロナなどとトム・ブラウンが提携してスポーツウエアビジネスを拡大しようとした動きを悪意の証拠として提示していた。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

2

2023

◆ エルメスが NFT 創始者に商標権侵害等に基づく訴訟で勝訴

エルメス・インターナショナルが NFT（非代替性トークン）の創始者であるメイソン・ロスチャイルド氏を商標権侵害等に基づき訴えていた件で、陪審員がエルメス側を支持する判決を下した。9人の陪審員は、メイソン氏が商標権侵害、ブランド希釈、サイバースクワッティングの責任を負うと判断し、損害賠償については、エルメスは商標権侵害とブランドの希釈化に対して11万ドル（約1,500万円）、サイバースクワッティングに対して2万3,000ドル（約300万円）の賠償を受けることになるという。

◆ 味の素が韓国の食品メーカーにドイツの特許権侵害訴訟で勝訴

味の素が韓国の食品メーカー等（CJグループ）にうま味調味料「味の素」の製法に関する特許を侵害されたことを理由に訴えたドイツでの裁判で、CJグループが味の素に和解金を支払うことで合意したという。和解金の総額は非公表だが、総額40億円程度とみられる。

味の素は、CJグループを相手取り、「味の素」の主成分であるグルタミン酸ナトリウムと飼料用アミノ酸のトリプトファン[®]の製法を巡る複数の特許侵害訴訟を日本、米国、ドイツ裁判所に起こした。うち日米での訴訟3件は、昨年までに合意金の支払いで全て決着していたため、今回のドイツでの和解で両社による特許紛争は一段落する見通し。

◆ アディダスの類似品販売で逮捕

滋賀県警木之本署は、商標法違反の疑いで住居不定の会社役員[®]の男を逮捕した。この男は、2021年7月9日ごろ、SNSを通じて他の男性に対し、「アディダス」に類似する商標を付けた半袖シャツとズボン計9着を販売し、商標権を侵害した疑い。男は、「偽物の認識はなかった」と容疑を否認しているという。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

3

2023

◆ 昨年の税関差止件数が約2万7千件に

2022年に日本の税関で差し止められた偽ブランド品等は約2万7000件となっていたことが分かった。3年連続で2万5000件を超える高い水準となり、商品別では、ワールドカップの影響とみられるサッカーのユニフォームや、浄水器のカートリッジに関する偽物が急増。

また、去年10月からは、個人使用の目的で輸入した模倣品も取り締まりの対象となり、10月から12月までの3カ月間の差し止め件数は20%余り増加したという。

◆ メタバースにおける模倣品の販売・譲渡などが差止可能に

政府は、不正競争防止法や商標法といった知的財産関連法の改正案を閣議決定した。

今回の改正案では、メタバース（仮想空間）などのデジタル空間で販売・譲渡されている模倣品の差止請求を可能にするものとなる予定で、アバター（分身）が身につける衣類や小物も想定されている。

◆ デジタル技術・データ活用ビジネスにおける知的財産活用取組事例集

経済産業省中国経済産業局は、自動車部品サプライヤー等を中心に、デジタル技術を活用した新たな事業展開を図る中小企業の知的財産活用についてまとめた事例集を発表した。

本事例集では、デジタル技術を活用した新たな事業展開を図るものづくりの中小企業を中心に、知的財産権の取得・活用状況や知財に係る課題・取組等がまとめられている。

「中国地域のデジタル技術・データ活用ビジネスにおける知的財産活用取組事例集」

<https://www.chugoku.meti.go.jp/topics/automobile/pdf/230314.pdf>

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

4

2023

◆ 米メルクが「特許の崖」対策として1兆円超の買収へ

米メルクは、バイオテクノロジー企業のプロメテウス・バイオサイエンシズを約1兆5千億円で買収する方針を発表した。実現すれば、医薬品業界では過去数年で最大規模の買収の一つとなる。メルクは主力のがん免疫薬「キイトルーダ」が20年代中に特許の保護を失うことに伴う減収に備え、買収を模索していた。

この買収以外にも米国の製薬業界ではM&Aが流行しているが、その原因は所謂「特許の崖」問題である。ブルームバーグ・インテリジェンスの製薬アナリスト、マイケル・シャー氏とジョン・マーフィー氏は、「米国の大手製薬会社は30年までに年間売上高で2000億ドル余りを失うことになり、その中でもメルクの状況は最も顕著だ」と指摘していた。

◆ 「チロリアン」の商標権侵害で名称変更

菓子製造販売の千鳥饅頭総本舗（福岡市）が、銘菓「チロリアン」の商標権を侵害されたとして、千鳥屋本家（福岡県飯塚市）に商品名の使用禁止や損害賠償を求めた訴訟において、大阪地裁で和解が成立したことが明らかとなった。

チロリアンはロール状のクッキーにクリームを詰めた人気商品で、千鳥屋本家は、包装をリニューアルし、「ヨーデルン」と名称を変更して販売を再開している。

なお、このような侵害訴訟の和解では、過去の売上に応じた和解金の支払いが条件となることが多いが、本件に関しては和解金の支払い等は明らかとなっていない。

◆ 偽ブランド品をオークションサイトで販売し逮捕

偽ブランド品を販売したことにより商標法違反などの疑いで衣料品販売会社の会社役員の男が逮捕された。この男は、オークションサイトでラルフローレンなどの偽物の帽子を販売した疑いがあり、自宅からは400点以上の偽ブランド品が押収された。警察によると、この男は、2年半前から少なくとも1700点以上の偽ブランド品を販売し、500万円以上を売り上げていたという。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

5

2023

◆ 「ウマ娘」が特許権を侵害しているとしてコナミが提訴

サイバーエージェントは、子会社のCygames（サイゲームス）が運営する人気ゲーム「ウマ娘 プリティーダービー」が特許権を侵害しているとして、コナミデジタルエンタテインメントから提訴されたことを発表した。

Cygamesは、「ウマ娘」のゲームシステムやプログラムの一部について、コナミ側と特許に関する協議を行ったものの、和解はなされず、損害賠償40億円、及び販売差止が請求されているという。

「ウマ娘」については、ゲームの他にも、アニメ、出演声優によるライブイベントなどさまざまなジャンルに展開され、大人気となっている。

◆ 知財高裁が海外サーバーからの日本への動画提供に対し日本の特許権の侵害を認める

動画配信サービス「ニコニコ動画」を運営するドワンゴが、画面上に視聴者のコメントが流れる技術に関する特許権を侵害されたとして、「FC2動画」を運営する米FC2とホームページシステムに対し、配信の差し止めなどを求めた裁判の控訴審判決で、知財高裁は、一審判決を変更して、配信の差し止めと、およそ1,100万円の賠償を命じた。裁判では、サーバーが海外にあるFC2のシステムに日本の特許権が及ぶかが争われたが、判決で知財高裁は、ユーザーの端末が国内にあることなどから「日本の領域内で行われたものとみることができる」として、特許権の侵害を認めた。

◆ 自動車部品の偽造品販売で逮捕

自動車メーカーの偽造品のガソリンキャップなどを販売したとして、札幌市の自営業の男女2人が商標法違反の疑いで、札幌市の夫婦2人が逮捕された。

警察によると、2人は、一昨年12月から去年11月にかけて、自動車メーカーの偽造品のガソリンキャップなどあわせて8点をインターネット上で販売したとして、商標法違反の疑いがあり、2人ともこの容疑を認めているという。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>

ノスクマード[®]知財ニュース

6

2023

◆ グリーン・トランスフォーメーションに関する情報分析結果の公表

特許庁は、グリーン・トランスフォーメーション（脱炭素社会に向けた取り組み）に関する技術動向を俯瞰するものとして、2010～2021年の間に申請された関連技術についての国際特許出願の件数を、出願人の国籍ごとにまとめた資料を公開した。

この資料によると、二次電池や太陽光発電、建築物の省エネルギー化の分野において、日本国籍が首位となっている。

GXTIに基づく特許情報分析の結果概要 | 経済産業省 特許庁

https://www.jpo.go.jp/resources/statistics/gxti/tokkyo-joho-bunseki_chousa-kekka.html

◆ 竹下通りで偽ブランド品を販売し逮捕

高級ブランド「バレンシアガ」の偽物の帽子を販売目的で所持したとして、警視庁と東京税関は、竹下通りの衣料品販売店の店主の男（東京都）を商標法違反の容疑で逮捕した。

この逮捕は、新潟県の男子高校生が、同店で「シュプリーム」と「ナイキ」のロゴなどが入った服を買ったが、領収証をもらえなかったこと、また、袋がブランドのものでなかったことから、それらを買取店に持ち込み、偽物の可能性が高いことを確認したため、警察署に「悔しいので取り締まって欲しい」と相談をしたことがきっかけになったという。

◆ 中国で「メッシ」関連の商標が多数出願

中国メディアによると、サッカーのアルゼンチン代表が親善試合を行う中国で、リオネル・メッシ（パリ・サンジェルマン）について、「メッシ」や「ミスター・メッシ」、「メッシ得点」、「ボールキング・メッシ」、「レオ・メッシ」、「メッシ・ゴールデンブーツ」などのメッシ関連の商標出願が数百件されているという。

株式会社ノスクマード[®]インスティテュート[®]

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-15-1 ノスクマードビル

TEL (06)6394-3073 FAX (06)6394-3066 URL <http://www.yanagino.com>